

L型剛性防護柵

「NETIS」登録番号No.KK-150022-A

連結部は「車両用防護柵標準仕様・同解説」（日本道路協会）及び
「防護柵標準図集」（NEXCO）に準拠



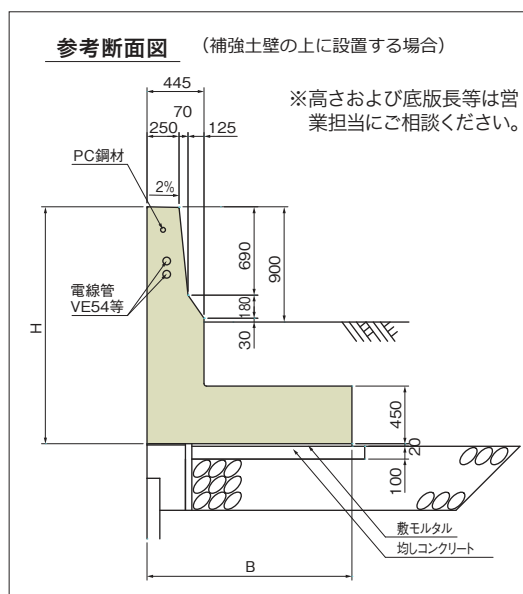
実車実験による性能確認済み！



プレキャスト剛性防護柵として、現在実車実験により性能を確認されているのは、PC鋼材の緊張による一体化を図った仕様だけです。また、天端をプレストレスト構造にすることにより、衝突時の残留変位や天端局部破壊を抑制します。

特長

- 1 プレキャスト化によって大幅な工期短縮が可能です。
- 2 プレキャスト躯体内部に電線管（VE管等）やハンドホールを予め埋設することができます。
- 3 落下物防止柵や遮音壁を設置することができます。
- 4 「防護柵の設置基準」の種別（SS、SA、SB、SC）に対応しています。



京都縦貫自動車道、首都圏中央連絡自動車道、名神高速道路、西名阪自動車道、北関東道、紀勢自動車道等多くの高速道路や自動車専用道路で採用されています。

施工事例



移動式墜落防止柵(特許取得済:特許第5863131号)を用いての施工例

